



## 水産情報速報版

H19. 9. 1 No.1240  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 初心者釣り教室開催

#### - 県遊漁船業協会 -

県遊漁船業協会(会長: 藤井多喜男下田市漁協組合長)では、8月5日由比港地先において、由比港漁協及び由比港遊漁船組合の協力を得て「初心者船釣り教室」を開催しました。

教室には県内から公募により家族連れなど約90名が集まり、初めに県遊漁船業協会から船上での注意事項の説明、続いて由比港遊漁船組合から釣り道具の使い方の説明を受けた後、10隻の遊漁船に乗り込み、船頭の指導のもと約2時間半にわたりマアジのサビキ釣りを体験しました。当日は、船酔いした方も多くいましたが、遊漁船を直ちに帰港させたりするなどの対応をして、船釣りに対する関心を高め、新たな利用者の開拓に努めました。

### 2. 第2回理事会開催

#### - JF静岡女性連 -

JF静岡女性連(会長: 津島幸子稲取漁協女性部長)では、8月8日県水産会館において、第2回理事会を開催して、平成19年度のJF静岡女性連が開催及び参加する事業について協議しました。

それによると、本年度の幹部研修会は、平成19年10月11日(木)~12日(金)に東伊豆町稲取で開催し、また、女性部大会は、平成20年3月14日(金)に県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)において開催することが決定されました。その他、県協同組合間提携推進協議会女性交流集会への協力や第13回青年女性漁業者交流集会への参加について協議されました。

### 3. ふぐ漁組合役員会・調整会議を開催

#### - 県ふぐ漁組合連合会 -

県ふぐ漁組合連合会(会長: 星川壽美雄浜名漁協組合長)では、8月10日県水産会館において、役員会及びふぐ漁業操業に係る調整会議を開催し、平成19年度ふぐ漁業操業申し合わせ事項について協議しました。

調整会議では、操業期間(10月1日~2月末日)、操業時間、休漁日(指定休漁日: 土曜日、祝日の前日、消費地市場の休日の前日、10月16日、23日、11月13日、27日、12月11日、12月29日~1月5日)、漁法・漁具などについて確認され、また、操業申し合わせに記載の経緯度については、日本測地系で判断することが合意されました。

このあと、県水産技術研究所浜名湖分場小泉康二主任研究員から平成19年度のトラフグ種苗放流事業について説明がありました。

### 4. 平成19年度天草共販第5回入札会開催される

本会では、8月22日賀茂出張所において、天草共販の第5回入札会を開催しました。5回までの取扱累計は数量125,364kg、本数5,028本(前年比34,114kg、1,370本増)、取扱金額122,483千円(同7,642千円減)、平均単価9,770円(同4,490円減)となりました。

なお、今回の入札結果は次のとおりです。

入札数量: 20,493kg(822本) 取扱金額: 15,975千円 平均単価: 7,795千円(10kg当たり) 最高入札額: 14,000円(10kg当たり) 生産地 = 大川、銘柄 = まくさ(粗)

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

なお、第2回の入札数量を次の通り訂正します。 入札数量: 12,883kg(517本) 取扱金額: 15,093千円 平均単価: 11,716千円(10kg当たり)

### 5. 指定漁業許可の一斉更新を実施

#### - 水産庁 -

水産庁は8月1日付で、指定漁業の沖合底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型まき網漁業、遠洋かつお・まぐろ漁業、近海かつお・まぐろ漁業、北太平洋さんま漁業、日本海べにずわいがに漁業、いか釣り漁業について、許認可の一斉更新を行うとともに、許認可に係る諸規制等についても点検・見直しを実施しました。

今回の総許認可隻数は2,030隻となり、前回の一斉更新時の平成14年(2,489隻)に比べ459隻減少しました。

漁業種類別の許認可隻数は次の通りです。カッコ内は前回の一斉更新との比較。

沖合底びき網 = 391隻(51隻減) 以西底びき網 = 13隻(5隻減) 大中型まき網 = 207隻(14隻減) 遠洋かつお・まぐろ = 583隻(42隻減) 近海かつお・まぐろ = 435隻(97隻減) 北太平洋さんま = 204隻(25隻減) 日本海べにずわいがに = 15隻(7隻減) いか釣り = 182隻(218隻減、操業区域の区分の統合に伴う減少を含む)

諸規則等の見直しについては、漁船漁業に構造改革を推進し、将来にわたり水産物の安定供給を担う国際競争力のある経営体を育成する観点から、漁獲物等の陸揚港制限の撤廃、漁獲物等の転載制限の規制緩和等を行いました。

そして、漁業秩序の適正化のため、許認可の適格性を判断するための基準について法令遵守を一層促進する観点から厳格化するとともに、透明性を確保するためこれを省令で決めました。また、漁業関係法令違反に対する行政処分の運用規準についても、違反の発生の抑止力を向上させる観点から厳格化するとともに、透明性を確保するためこれを公表し、周知徹底を図りました。さらに、操業区域違反を繰り返す漁船に対し、一定期間、衛星船位測定送信機による位置報告を義務付ける措置を導入しました。

### 6. 平成20年度(第69期)学生募集

#### - 全国漁業協同組合学校 -

(財)漁村教育会 全国漁業協同組合学校(千葉県・柏市)では、このほど平成20年度学生募集要項を次のとおり公表しましたのでお知らせします。

募集人員: 50名(男女共学) 応募資格: 1年以上漁業に従事し、または漁協系統団体に勤務中の者 高卒者(平成20年3月末までに卒業見込者を含む)またはこれらと同等以上の学力を有すると認められる者 いずれも漁協系統団体等の推薦が必要

願書受付期間: 第1回 平成19年10月1日(月)~11月9日(金)、第2回 平成19年12月1日(土)~平成20年1月18日(金) 応募先: 出身地域の漁連会長宛 入学選考料 3万円 提出書類: 入学願書、成績証明書、健康診断書、推薦書(系統団体)

選考日: 第1回・平成19年11月22日(木)、第2回・平成20年2月8日(金) 応募手続きを提出した連合会で書類審査、小論文、面接 合格発表: 第1回・平成19年11月29日(木)、第2回・平成20年2月15日(金) 問合せ先: 同校 04-7144-8125

#### - お知らせ -

JF南伊豆町のホームページアドレスが次のとおり変更されましたのでお知らせします。旧 <http://www.m-izu.or.jp/> 新 <http://www.m-izu.net/>

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう